



おいかわ歯科クリニック  
横浜インプラントセンター上大岡 併設

# ゼロからわかるインプラント治療

おいかわ歯科クリニック

インプラント小冊子

## 【前章】はじめに

はじめまして、老川秀紀と申します。

現在、おいかわ歯科クリニックの院長を務めております。

突然ですが、あなたは歯科治療のインプラントの正しい知識を持っていますか？

きっと、一般の方々が専門的な内容を理解するのはとても難しいもの。

インプラントを検討される患者さまにとっては、

どうやって歯科医院を選べばいいかわからない、というのは当然だと思います。

分かりやすく、誰でもインプラント治療を理解できる情報を提供したい。

この本を作ったのは、そんな思いからです。

ここで話すインプラント治療の話で、

あなたのお悩み解決のお手伝いになるかもしれません。

かむ力が回復すると、見た目も気持ちも若々しくなり、食生活も変わります。

そして、自然と笑顔の毎日をおくれるようになることでしょう。

どうぞリラックスして、少しの間おつきあいください。

## 【第1章】インプラントって？

抜いた、または、抜けてしまった歯を元の状態に戻すには、「入れ歯」「ブリッジ」「インプラント」の3つの治療方法があります。

なかでも、私たちがお勧めするのは「インプラント」治療です。

あごの骨にチタン製の人工の歯根を埋め込み、それを土台にして人工の歯を装着します。隣の歯を削らないので、ほかの歯に負担がかかりません。審美的、機能的にも優れた最新の治療法です。

インプラントの最大のメリットは、“天然歯に近いかみ心地”。

従来、入れ歯では食べづらかったおせんべいなども、食べることができます。カケラを詰まらせる心配もないので、嫌な痛みもありません。

部分入れ歯やブリッジのように、他の健康な歯を削る必要がないのも、大きなメリットでしょう。

インプラントは、普段と同じように歯を磨いておけば、口臭に悩まされることもありません。見た目も天然の歯と同じです。ですから、大きな口をあけて大声で笑うこともできます。

他にも、「かむ力が強く、自分の歯と同じ感覚がある」など、多くのメリットを備えた理想的な治療法です。

とはいえ、インプラントにはいくつかのデメリットも存在します。

たとえば、インプラントを埋め込むためには、外科手術が必要です。そのため、手術を含めると、比較的、高額な治療費が必要となってきます。

また、誰でも治療できるというわけではありません。糖尿病などの全身疾患がある方は、手術ができない場合もあります。

このように、治療方法は一つではありません。それぞれのメリット・デメリットを比較し、自分自身の歯の状態を調べた上で、最適な治療方法を選んでいただきたいと思います。

## 【第2章】失敗しないインプラント治療のために

インプラントを行っている歯科医院はたくさんありますが、その技術には大きな差があります。医師の技術レベル、使用する設備の質も大事です。でも、最終的に治療の成功に導くのは患者である皆様です。

ですから、最高のパートナーとしての歯科医院を選ぶことが大切なのです。

### ポイント1【インプラント埋入本数が年間100本程度あること】

一般的なインプラント医が自らの技術を保ち続けるためには、症例数年100本程度が一つの基準となります。

私自身、過去に年 200 本以上埋めていました。しかし、時間的な関係上、慌ただしくなってしまうこともあり、バランスをとりながら手術を行っています。

歯科医として、お口の中全体のバランスを見て治療をしていくことを考えると、年 200～300 本程度が、良い治療をできる上限と考えております。

したがって、症例数年 100～300 本程度が、よいインプラント医の一つの基準ではないでしょうか。

## ポイント 2 【CTを常備している医院であること】

これからの時代、CT撮影なしにインプラントを行うことは、**絶対に避けるべきだと考えています。**

施術中でも術者が何か違和感があった場合、その場で CT によるチェックを行い、安全を確認する。手術に CT を用いることは、必要不可欠なのです。

ここまで CT を強調する理由は、数年前に都内で起こった医療事故の反省からです。事前に撮影を行っていれば防げたはずの事故でした。

また、CT は必ず撮影するが、**院内に常備していない医院も若干の不安が残ります。**なぜなら、撮影するために、患者さまを他院にご紹介する必要があるからです。他院に紹介することによって、患者さまは余計な時間・費用を負担することになります。

CT 常備。これからの時代にインプラント治療を受けるための、必須条件です。人の体は平面ではありません。3次元で診断することは、医療人として当然のことだと考えています。

### ポイント3【一般外科処置が行えること】

埋まっている親知らずの抜歯や、歯周病の治療は、外科治療の基本です。

外科的な知識・技術が少ないにもかかわらず、インプラントを行う医院はリスクが高いと考えます。

## 【第3章】インプラントのお悩み解決 Q&A

### Q 治療期間はどのくらいかかるのでしょうか？

インプラントを埋入した部位や個人によって差がありますが、4ヶ月から7ヶ月程度の治療期間が必要となります。

### Q 手術の際に入院が必要ですか？

基本的には入院の必要はありません。手術当日にお帰りいただけます。

ただし、特殊な症例の場合や、全身疾患を有する患者さまの場合には入院して手術を行なうこともあります。

### Q インプラントはどのくらいもちますか？

患者さまのお口の中の衛生管理に大きく関係してきますので、お口の衛生状態が悪いとインプラントの寿命が短くなる場合もあります。

## Q インプラント治療に年齢制限はありますか？

年齢的にあごの骨が完成する20歳前後から、健康な方であれば基本的に誰でも治療を受ける事ができます。

年齢の上限はございません。80代の方でもインプラント治療は可能です。

## Q インプラント治療が適用できない場合はありますか？

- ・あごの骨の成長が終わっていない、概ね20才以下の方
- ・歯磨きなどの日常の手入れが十分にできない方
- ・アルコール依存症の方
- ・CT撮影を行っていない方
- ・チタンアレルギーの方

以上の方でも症状によりインプラント治療が可能の場合がございますので、一度ご相談ください。

## Q.インプラントの手術時間、痛みと腫れはどうですか？

1本埋入で30分、3本以上で1時間～1時間半くらいです。

痛み、腫れは簡単な症例ではほとんどないようです。広範囲であったり時間がかかる症例は痛みと腫れのある場合が多いようですが、処方する鎮痛剤で十分しのげます。

腫れも1、2日でなくなります。

## 【第4章】インプラントでいつまでも健康に

### ～当院のインプラント治療～

当院では、麻酔学会認定医が常駐（私の妻でもあります）。無痛治療のエキスパートと、チームを組みながら手術を行います。

実際の手術では、静脈内鎮静法とよばれる特別な麻酔方法で治療を行います。これにより、半分寝たような状態で手術を受けることができます。

もちろん、**痛みはほとんどありません。**

寝ているような状態なので、手術時間も短く感じられます。実際、「**もう手術が終わってしまっただの？**」とおっしゃる患者さまもいるほどです。もちろん、無痛治療には、追加料金は頂いておりません。インプラントの治療費用に含まれています。

また、院長はインプラントの**専門医**です（ICOI・国際インプラント学会認定医、厚労省認定社団法人日本歯科先端技術研究所認定医）。ご相談の段階から治療に携わらせて頂きます。

もちろん院内にはCTを常設。医師の経験や勘に頼らず、客観的な判断基準をもとに安全な治療を行っていきます。もちろん、これも撮影費用はいただいております。

私たちは、痛みの少ない安全なインプラント治療を目指しています。

#### ●最新設備をご用意しています

インプラント治療を成功させるためには、医師の技術はもちろん、院内の設備も重要です。

当院では、安全な治療を行うために院内設備もしっかり充実させています。



中にはピンとこない機器もあるかも知れませんが、ほとんどが歯科業界では必要とされていながらも、これから導入されるような設備ばかりです。少しご紹介しましょう。

### 【CT】

コンピュータを使ったデータ処理で、骨や血管の断層写真を見ることができる装置です。これにより手術の成功率が格段にUP。安心して治療を受けることができます。

### 【全身管理用モニター】

血圧はもちろん、心電図・心拍数・脈拍数・動脈血酸素飽和度などを管理できます。体に疾患をお持ちの患者さまには、心強い装置です。

### 【静脈内鎮静用シリンジポンプ】

薬剤などを、ゆっくり注入する際に使われる医療用機器。無痛治療で、歯医者さんに苦手意識がある方の不安を減らします。

### 【殺菌水生成装置】

患者さまのうがい用の水、治療前・治療中の手洗い、治療器具の洗浄などに使用することで、院内感染を防ぎます。

### 【インプランター】

インプラント手術中、骨を削る際に使われる装置です。回転を上手に調整することで、熱を発生させにくいエンジンです。

### 【ルーペ】（拡大鏡）

歯の細かな凹凸などをしっかりと確認することができるので、削り残しなどがへります。これにより、再治療の防止や、治療期間の短縮が可能になりました。

### 【デジタルレントゲン】（全体撮影、矯正用、詳細用）

レントゲン装置のデジタル仕様判です。スピーディな現像で、患者さまをお待たせしません。また、非常に鮮明な骨の画像をキャッチすることができます。

### 【滅菌機】（オートクレーブ）

水を沸騰させ、高温で器具に付着した微生物を死滅させたり不活化する滅菌器のことです。徹底した衛生管理で、感染症を防ぎます。

### 【根管治療用回転式Ni-Tiファイル】

根管治療や神経治療に使用します。針状でやすりのようになっており、神経の除去や感染した歯質を削り取ります。当院では従来のステンレス製と比べて高い弾力性を持ったニッケルチタン製のファイルを使用します。日本では2割程度の医院にしか普及していません。

### 【バキュームフォーマー】

歯科用マウスピースを作る装置です。歯科用マウスピースは、歯ぎしりの治療や、ホワイトニング治療の際に使われています。

### 【口腔内撮影用カメラ】

デジタルカメラで口腔内を撮影することで、術前・術後の治療経過がひと目で確認できます。

## おわりに～

昔から歯医者には痛くて怖くて嫌な思いをするところと想われております。  
私も小さい頃、歯医者は大嫌いでした。

なぜなら、待たされるし、ほとんど説明なくいきなり歯を削られ、しかも痛くて…探してみるとなかなか良いところが見つかりません。

でも現在では、痛い・怖いということに関しては患者さまに感じさせないで治療ができる時代になっております。

当院では、通常の保険診療の中でも麻酔のやり方一つでかなり痛みを感じさせずに、治療することが可能です。また、どうしても怖いという方には静脈内鎮静法という方法がございます。

「インプラント治療に興味がある」「ちょっと知ってみたい」という方、ぜひ、当院までご相談ください。もちろん、カウンセリングは無料です。

患者さまとよく話し合い、もっとも患者さまに適した治療法を提示させていただきます。



おいかわ歯科クリニック院長

老川秀紀（おいかわひでき）

乙女座・B型・8月24日生まれ

趣味：仕事、インプラントの勉強会、車

【所属学会・資格】

ICOI（国際インプラント学会）認定医、日本歯科先端技術研究所インプラント認定医、  
ニューヨーク大学インプラント科 CDE プログラム終了（3期生）、  
Harvard Implant Comprehensive Dentistry（ハーバード大学認定インプラント総合歯科  
医）、日本口腔インプラント学会、日本歯科審美学会、日本学咬合学会、神奈川矯正研究  
会所属スタディグループ「WAGD」主宰、有志会、JODS

【経歴】

日本大学歯学部卒業、歯科スタディグループ WAGD 主宰。

## 【お問い合わせ】

おいかわ歯科クリニック OikawaDentalClinic

【院長名】 老川秀紀（おいかわひでき） HIDEKIOikawa

### 【診療科目】

インプラント、審美歯科、無痛歯科治療（麻酔医による静脈内鎮静法）、ホワイトニング、歯周病治療、歯内治療、金属アレルギー治療、入れ歯・虫歯治療、小児歯科・咬合誘導、矯正歯科、口腔外科

### 【住所】

〒233-0002 横浜市港南区上大岡西 1-10-11 ウスイクリニックビル 6F  
交通京浜急行電鉄/横浜市営地下鉄「上大岡」駅徒歩 1 分

### 【電話番号】

**045-849-1344** お気軽にお電話ください！

